

# 東北もと工場報

## 中小商工

金融に就て

の企業と異なるレーベン  
金融を以つて一つの社會政策なりとする見解と對比して危険にあらず商想の中小

金融を以つて一つの社會政策なりとする見解と對比して妥協的態度が注目される

それが流動過程にある即ち

次に資金の中央吸収だが

之れは單に商工業者に限る

ものではなく資金は少くも

定中であるが未だ確定しな

いので關係町村長が先般片

濱廻り實現方を鐵道大臣に陳情猛運動した

伴ふ需要のないところに止

結局右片濱廻り即ち平町よ

まざるものではない金融機

開その他を通じ前記の方則

に基いて資金は流出し流入

を決定されるものと見られ

る、この點現在ですら全

てゐる、同鐵道着手は昭和

を経て小名濱町に至る路線

十年より而して十年度は測

算十三年度完成の豫定であ

る、尙鐵道の完成は小名

渡金二八、九〇一(四、一

〇〇) 寄附金六、七五八

(四、二〇八) 雜收入九、一

三七(一、五二四) 町稅一

四八、〇六五(三、七三三)

戸數割八七、四八〇(三、

五五七)

◇歳入 使用料一〇五、二

三九(二、七四七) 國庫下

水戸運事のガソリン列車

運轉計畫は愈々具體化し近

く本省と本局から來て實地

調査の運びとなつたが平を

中心として平——湯本間

から運轉開始されるものと

見られてゐる

ものがある。

名喰たるものがある。

氏は颶爽たる風格談論亦

れる。

氏は若冠にして役場吏員と

なり助役に推され町長に選

ばれ三十余年間江名將來の

功績は盡瘁し來る治績一々枚

挙限なし。

業所の經營の衝に當り事業

に有り尙光療養地にて近

時の方針は中小商工業

願ふものである(未完)

の相談相手となつて産業資

金の融通を計り健全なる、

こと中小商工業者の收支

關係を明確ならしむる爲帳

簿の整理を強調すること即

の打開策に邁進されん事

を今後の方針は中小商工业

の相談相手となつて産業資

金の融通を計り健全なる、

こと中小商工业者の收支

關係を明確ならしむる爲帳

</div

